

# 令和2年度 ひきこもり支援について【北海道分】

## I ひきこもり支援状況等調査について

### 1 市町村の状況

① 市町村におけるひきこもり者の把握・支援状況 n=178

	把握市町村数		把握数	支援有市町村数		支援者数
R2	102	57%	1117	77	43%	722
R1	94	53%	1011	74	42%	663

\* R2 年齢階層別把握数・支援者数

年齢階層	把握数				支援者数				支援につながった割合(B÷A)
	総数(A)		男	女	総数(B)		男	女	
15歳未満	89	8.0%	52	37	87	12.0%	51	36	97.8%
15～19歳	109	9.8%	58	51	88	12.1%	46	42	80.7%
20～29歳	191	17.0%	128	63	139	19.3%	92	47	72.8%
30～39歳	181	16.2%	128	53	113	15.7%	84	29	62.4%
40～49歳	226	20.2%	175	51	126	17.5%	97	29	55.8%
50～59歳	193	17.3%	145	48	96	13.3%	69	27	49.7%
60～69歳	65	5.8%	39	26	39	5.4%	23	16	60.0%
70歳以上	22	2.0%	9	13	11	1.5%	2	9	50.0%
年齢不詳	41	3.7%	35	6	23	3.2%	19	4	56.1%
総数	1117	100%	769	348	722	100%	483	239	64.6%

② 市町村におけるひきこもり当事者及び家族会等の把握状況 n=178

	把握有		内訳			計
			当事者	家族会	その他	
R2	23	12.9%	12	20	5	37
R1	21	11.8%	6	14	8	28

③ ひきこもりサポート事業 n=178

	実施		未実施			
			検討中		未検討・実施予定なし	
R3	7	3.9%	8	4.5%	163	91.6%
R2	2	1.1%	10	5.6%	166	93.3%

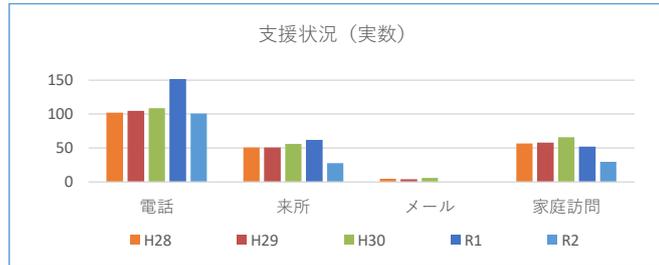
④ 市町村における単独の取組 n=178

	ひきこもり地域支援センター設置運営事業の類似事業						ひきこもりサポーター養成研修事業の類似事業					
	有		無		未記入		有		無		未記入	
R3	4	2.2%	174	97.8%	0	0.0%	2	1.1%	176	98.9%	0	0.0%
R2	2	1.1%	176	98.9%	0	0.0%	2	1.1%	176	98.9%	0	0.0%

## 2 保健所・精神保健福祉センターの状況

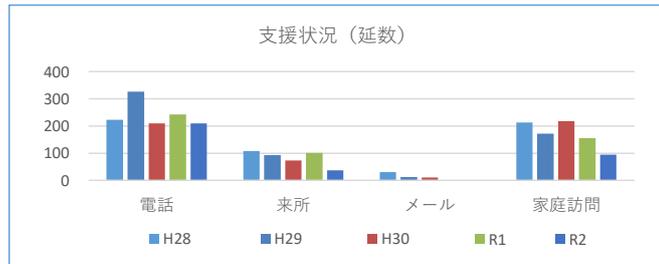
① 支援実績(精神保健福祉センターは電話・来所のみ)

支援方法	H28	H29	H30	R1	R2
電話	102	105	109	156	101
来所	51	51	56	62	28
メール	5	4	6	0	0
家庭訪問	57	58	66	52	30
計	215	218	237	270	159



② 支援延数

支援方法	H28	H29	H30	R1	R2
電話	222	327	209	243	210
来所	107	92	73	101	36
メール	30	12	10	0	0
家庭訪問	212	171	217	156	94
計	571	602	509	500	340



③ 保健所におけるひきこもり当事者及び家族会等の把握状況

区分	把握有		内訳			計
			当事者	家族会	その他	
保健所	15	51.7%	5	15	10	30
センター	1	100%	0	1	0	1

④ 保健所における支援上の課題・地域の課題等(抜粋)

- 事例が潜在化しており、相談や支援につながりにくい。
- ひきこもり期間の長期化により、問題が複雑化しているケースが少なくない。
- 継続した支援が受けられるよう、関係機関との連携が必要。
- 早期に相談につながる仕組みづくり。
- 8050問題を抱え、問題を家庭内で抱え込んでいるケースがある。
- 当事者は支援を求めている場合も多く、問題への介入や支援の継続が難しい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、支援業務に支障をきたしている。

## II 北海道ひきこもり成年相談センターの相談状況について(令和2年度)

相談者実人数		相談数延人数									
人数	(うち新規)	計	個別相談					訪問	小計		
			小計	電話	来所	メール	出張相談等		本人・家族	その他訪問	
											236